

大野一心

NO.38

(最終号)

令和5年3月23日(木) 文責：校長 諸熊 修一

2022(令和4)年度 ありがとうございました

3月14日(火)に卒業式を挙行了しました。昨年度の卒業式は3年生と保護者のみの参加でしたが、今年度は、ご来賓のご臨席を賜り、1年生は各教室でリモートでの参加。2年生は体育館へ入館し、在校生と卒業生の合唱も3年ぶりに対面で歌うことができました。卒業式の歌声にはいつも感動するのですが、3年ぶりに直に聞く歌声は格別でした。卒業式に向けての会場設営・後片付けや清掃など一生懸命に頑張った1年生、2年生の皆さん、ありがとうございました。皆さんの温かい気持ちは十分に伝わり、卒業生も感謝していることだと思います。



さて、明日が「修了式」です。明日は1年間の学校生活を総括する日です。この1年間、全員が、様々な体験をし、身体も心も成長しました。その成長を進級したそれぞれの学年で更に伸ばしてほしいと思います。明日からは、年度と年度の接続の時期である春休みに入ります。そして、春休みが終わると、全員が進級し、新1年生が入学してきます。次の学年に進級する前に、自分自身の良いところと弱いところを見つめ直し、次の目標に向かってまた頑張っていきましょう。

最後になりますが、今年度最後の「大野一心」になりました。今年度の学校評価で、学校だよりを楽しみに拝見しているというご意見をいただき、とてもうれしくなりました。また、地域の方々から学校だよりに書いた話題についてご感想をいただくこともありました。私は単純な男ですので、多くの方々から激励の声をいただいたことで俄然やる気が出ました。今年度はこれまでに私が作成した「学校だより」の中では、一番多い発行部数になりました。来年度も頑張って学校の様子や私の思い等を伝えていきたいと思います。

今年度の保護者及び地域の皆様の本校教育へのご理解とご支援に心から感謝申し上げます。次年度もどうぞよろしくお願い致します。

令和5年度人事異動に伴う転出教職員について

先日、お知らせしたとおり、令和5年度の人事異動に伴って以下の教職員が退職・異動いたします。長い職員で6年間、短い職員で3か月でした。本当にお世話になりました。

No	職名	氏名	異動先	No	職名	氏名	異動先
1	副校長	堀川 優彦	佐世保市立福石中学校 (校長として)	9	主幹 教諭	若杉 卓朗	(退職) 佐世保市教育委員会
2	教諭	豊島 貴子	佐世保市立江迎中学校	10	事務主幹	中村 真弘	退職
3	教諭	本多 いずみ	佐世保市立宮中学校	11	講師	島田 伸子	退職
4	教諭	原 大輝	佐世保市立早岐中学校	12	講師	相川 昂大	退職
5	教諭	堀 朱里	大村市立玖島中学校	13	講師	八代 由基	退職
6	教諭	浦田 まゆ	新上五島町立上五島中学校	14	講師	古賀 優希菜	退職
7	教諭	坂本 慶総	虹の原特別支援学校	15	特補	松永 友季	退職
8	教諭	中村 和宏	退職 (再任用)大野中学校	16	特補	山口 美由紀	退職

※ 特補:特別支援補助指導員

表彰伝達をしました！

今年度最後の表彰伝達を行いました。今年度1年間で多くの団体・個人を表彰することができました。野球のWBC日本代表の活躍も記憶に新しいところですが、大活躍した二刀流の大谷選手は次のように語っています。

「多くの人は、夢に向かって『しなければならぬ』と思うだけで、本気で実行していない。目標を掲げ、その達成のために、自分には地道な練習が必要だと思っている。その意識が、成長するためには、何よりも大切だ」と語っています。この強い心があったからこそ、野球の最高峰である大リーグでも二刀流として大活躍することができているのだと思います。

来年度も文化面、運動面で多くの人を表彰できることを楽しみにしています。（敬称略）

- 第66回西日本読書感想画コンクール 指定図書部 佳作 2年4組 江口 咲音
- 第49回長崎県アンサンブルコンテスト 管打八重奏 金賞 吹奏楽部
- 令和4年度第3回バドミントン1年生大会 男子シングルス 準優勝 1年3組 須加崎 洋嵩
- 第8回長崎オープン九州中学校バドミントン大会 男子団体 第3位 男子バドミントン部
- 令和4年度県北地区中学生バレーボール選手権大会男子の部 Aパート 第3位 男子バレーボール部
- 令和4年度 村博愛杯 中学生学年別卓球大会 2位 1年5組 田中 汐南
- 佐世保市教育委員会スポーツ表彰
 - ・スポーツ優秀奨励賞 団体の部 女子ハンドボール部
 - ・スポーツ優秀奨励賞 個人の部 2年3組 岩永 仁
- 他にも 団体の部：男子体操部 個人の部：水泳 3年5組 金子 咲希
新体操 2年2組 藤野 杏 1年4組 上近 琉斗 が表彰されています。

校長のひと一言

私の双子の娘は、今年度それぞれが通っている高校を卒業しました。保護者として二つの高校の卒業式に参加しましたが、一つの高校はカトリック系の高校なので、神父様からの祝辞があり、卒業生が退場する際にはろうそくに火を灯し、厳かに会場を後にしていきました。もう一つの高校は、今年度で退職される校長先生だったので、万感の思いで式辞を読まれました。卒業生代表の答辞にも校長先生との思い出が綴（つづ）られていました。どちらの高校も素晴らしい卒業式で、娘たちも友達との別れを惜しんでいたようです。



本校の卒業式も手前みそながら、凜とした雰囲気の中で素晴らしい式となりました。松本生徒会長の送辞、卒業生の答辞、在校生・卒業生の歌声など、感動に満ち溢れていました。卒業式も素晴らしかったのですが、前日の同窓会入会式での出来事も心温まる時間でした。同窓会入会式の終了後、サプライズで中村和宏先生の退職祝いを3年生全員で行いました。中村先生は全くご存じなかったのですが、3年職員は事前に知っていました。でも、そこから本当のサプライズでした。いきなり、3年生から「3年生の先生方、壇上へお願いします」と言われ、戸惑う3年職員。石橋前生徒会長からの感謝の言葉に続き、「旅立ちの歌」の合唱のプレゼントがありました。ピアノの間奏の合間にも先生方への感謝の思いを述べていきます。壇上に上がった何人もの職員は感極まって涙ぐんでいました。そのようなことができる生徒たち、そして、そのような絆を育ててくれた職員に、校長として感謝する一時でもありました。

4月からは生徒も職員も新しい出会いがあり、新しいスタートです。それぞれがそれぞれの場で活躍してくれることを願っています。

私の方とは言う、4月から妻と二人きりの生活が始まります。約20数年ぶりです。娘たちがいないのに、私のためだけにご飯を作ってくれるだろうか。晩酌をしているときに冷たい視線で見られないだろうか。今からドキドキしています・・・。